

木崎中だより

4号

令和3年7月1日(木)
さいたま市立木崎中学校
048(886)4302

学校と地域で共育する組織に

校長 稲田 正平

6月5日(土)から学校総合体育大会さいたま市予選が始まりました。前々日の3日(木)には大会に出場する運動部だけでなく各コンクールや発表会に参加する文化部も含めた各部長がそれぞれの意気込みを全校生徒に熱く語り、最後まで全力を尽くして活動すると宣誓した壮行会も開かれました。壮行会での意気込みのとおり、運動部は初戦を勝ちあがる場所が多く、木崎中生が大いに活躍した期間を過ごしました。コロナ禍のために保護者の方々も限られた応援になってしまいましたが、木崎中生の頑張りに大きな声援を送っていただき感謝いたします。運動部の3年生はこの大会をもって部活動を引退となります。今大会の結果により県大会に進む部活動もあり、さらに木崎中の活躍を期待すると共に、引退した3年生にはこれまでに築いた仲間との絆を大切にしつつ、気持ちを切り替えて進路や中学生生活最後の体育祭や合唱コンクールに向けて新たに歩みを進めてほしいと思います。また、2年生は部活動の中心が自分たちになり、2学期には様々な場面で木崎中の中心となります。このことを自覚して学校生活に臨んでほしいと思います。また、先日は教育委員会の学校訪問があり、木崎中の授業の様子や生徒の学校生活の様子が参観されました。木崎中の学校の様子が大変落ち着いており、いい雰囲気の中で学習が進められているとの講評が聞かれ、木崎中生の頑張りが大いに感じられた6月でした。

さて、本日学校運営協議会準備委員会を開催しました。これは来年度から学校運営協議会を設置してコミュニティ・スクールを立ち上げるための準備です。学校運営協議会は、木崎中に関係する地域の方など15名で構成し、学校運営及び運営に必要な支援に関して協議する機関です。校長が必要に応じて学校運営に関して保護者や地域の方々の意見を聞くことを目的としたこれまでの学校評議員会とは異なり、保護者や地域の方々が一定の権限をもって学校運営に参画することにより「目的やビジョン」を共有して、社会総がかりで子どもたちの健全育成や学校運営の改善に取り組むことを目的としています。また学校運営協議会は、校長の学校運営に関する基本方針を承認するなどのガバナンス機能をもつと同時に教育の当事者として参画することになります。この学校運営協議会により、木崎中が一層この地域との関係を深め、保護者と地域の皆さんと共に、子どもたちが健やかにそして心豊かに安全で安心して成長できるように協働して取り組んでいきたいと考えています。今後、準備委員会では「地域でどのような子どもたちを育てていくのか」「そのために学校、家庭、地域が一緒にできることは何か」などの協議を始めます。私は変化の大きい現代社会を力強くたくましく生きていくために、木崎中生たちには「目指す生徒像」で示した①自ら考え意見を持ち、良心に従って行動する力 ②自他を思いやり協力し、豊かな人間性を築く力 ③さわやかなあいさつを励行し、困難にくじけず最後までやり抜く力 を身に付けてもらいたいと願っています。こうした願いを込めながら学校経営方針を立てていますが、来年度以降はこうした学校経営方針も地域や保護者の方の意向を反映させて、学校運営協議会で承認を得てコミュニティ・スクールが実施されることとなります。学校と地域、保護者が一体となって共に木崎中生を健全に育むことに関わり、共育に取り組んでいけるような組織にしたいと考えています。そのための組織づくりとして学校運営協議会準備委員会を発足しました。何卒ご理解ご協力くださいますようお願いいたします。